

こどもしんぶん

★はてな1★

こども おとな
子供の歯が大人の歯に生えかわるのはなぜ？



赤ちゃんの頭と大人の頭の大きさはずいぶん違いますよね？
成長と共に頭が大きくなればあごも大きくなります。

ところが、赤ちゃんの時に生えてきた歯（乳歯）の大きさは変わりません！

そのため、こどもの歯（乳歯）は、あごの成長にあわせて大きな歯（永久歯）と生え変わるようになっています。

生えてきた永久歯は一生使う大事な歯です。

永久歯は乳歯より丈夫で、かむ力も強くなり、色々な物を食べられるようになります！

★はてな2★

おとな
大人の歯はどうやってつくられるの？

実は、永久歯の種（歯胚）はお母さんのお腹の中にいる時から作られ始めています！

あごの中で長い時間をかけて永久歯に成長するのです。

★生えて来たばかりの歯はまだ根が完成していません。歯の根が完成するまでに2～3年かかります

みてみて！

すごいでしょ？
こんな風になってるよ！



しはい えいきゅうし たね
歯胚（永久歯の種）

6歳くらいになると少しずつ乳歯が抜けて永久歯が生えてくるよ。だいたい12歳位で

28本の永久歯がそろそろようになっていて、永久歯が生えそろうとかむ力が強くなるよ！

永久歯は一生使うので歯医者さんで定期的に診てもらい、大切にしよう！

左の模型は診療室に置いてあるので、見たい人は気軽に声をかけてね♪



教えて？

大人の疑問コーナー

子供の仕上げ磨き。
いつまで続ければいい？

目安として、小学校3年生までは続けてあげてください。

小学生になったら一人で磨けるようになるのが目標ですが、生え変わりの最中の歯並びはデコボコで歯垢が残りやすいです。幼児期のように全体を仕上げ磨きする必要はありませんが、子供がみがいた後に点検を兼ねて仕上げ磨きをしてあげましょう。

デンタルフロス。
子供も使ったほうがいい？

歯と歯の間は歯垢がつきやすく、歯ブラシだけでは60%程度しか歯垢を取り除けません。しかし、一緒にデンタルフロスを使えば、90%近くの歯垢を取り除く事ができると言われています。

生え変わり時期は歯ならびも複雑なので、子供も歯と歯の間のケアを習慣にしていましましょう。

歯ぐきを傷つけないためにゆっくりと小さく動かしながら入れること。その後、上下に動かしながら歯垢を落とします。

